

2021年12月16日

喫煙の有無別入院後生存率（スペイン新型コロナレジストリデータ）

自然感染歴およびワクチン接種歴別新型コロナ抗体レベル

【松崎雑感】

タバコを吸う人々は、入院後の生存率が、タバコを吸わない人々よりも明らかに低く、新型コロナワクチンを受けても、新型コロナを防ぐ抗体が十分できないことが、あらためて証明されました。

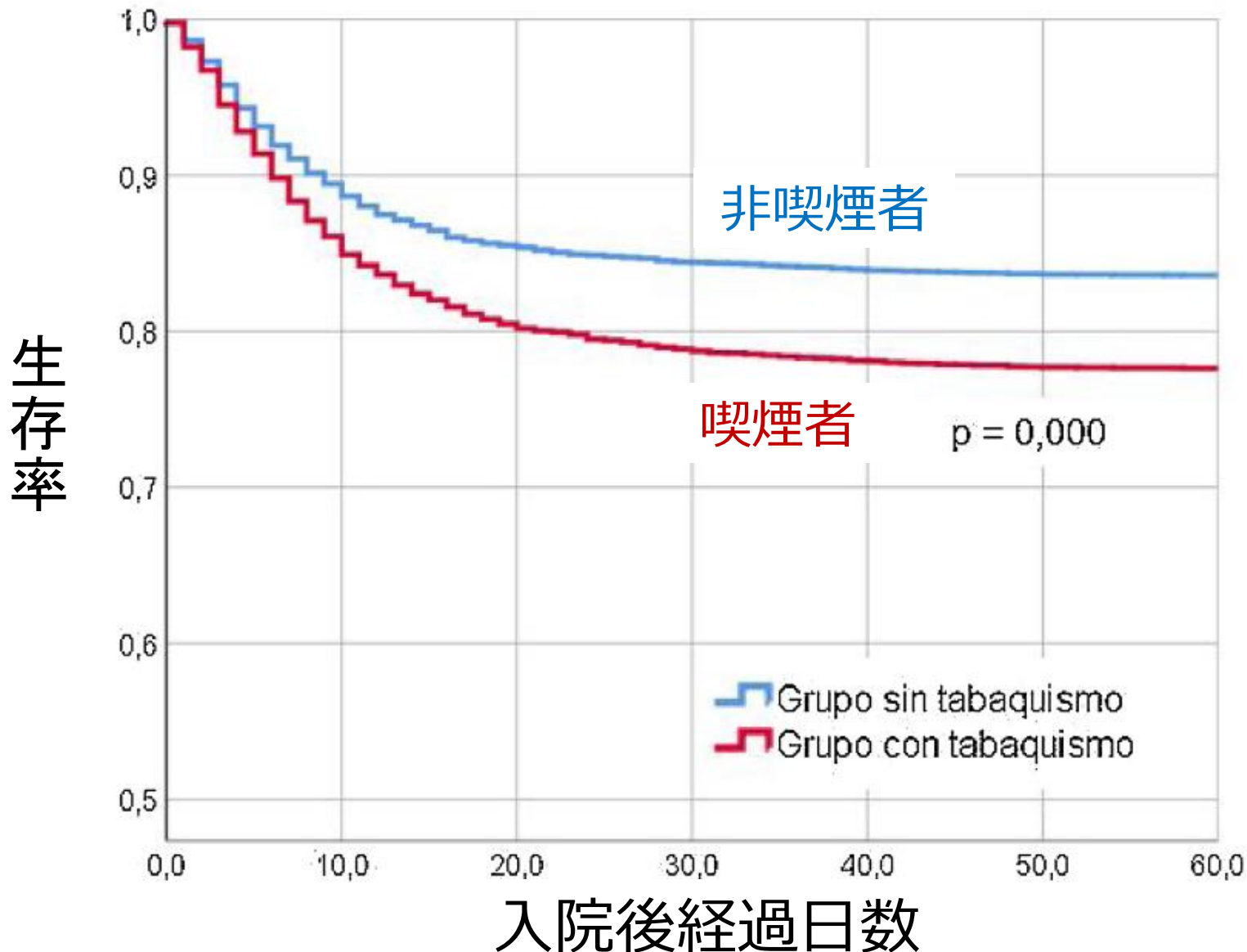
最新の懸念変異株、オミクロン株では、感染率が高いようですので、たとえ重症化率が既存の変異株と同じレベルと仮定しても、感染で重症化する人々の実数は、ずっと多くなるおそれがあります。

元旦からとは言わず、今すぐタバコ製品の使用をおやめになることをお勧めいたします。

喫煙者は非喫煙者よりも生存率が有意に低かった

喫煙の有無別入院後生存率（スペイン新型コロナレジストリデータ）

Navas Alcántara MS, et al. Influence of smoking history on the evolution of hospitalized in COVID-19 positive patients: results from the SEMI-COVID-19 registry. *Med Clin (Barc)*. 2021 Nov 15:S0025-7753(21)00650-3. English, Spanish. doi: 10.1016/j.medcli.2021.10.011. Epub ahead of print. PMID: 34895891.



喫煙者は非喫煙者よりワクチン免疫が4割低かった

自然感染歴およびワクチン接種歴別新型コロナ抗体レベル

Herzberg J (Department of Surgery - Krankenhaus Reinbek St. Adolf-Stift, Hamburger Strasse 41, 21465 Reinbek, Germany) ,et al. [SARS-CoV-2-antibody response in health care workers after vaccination or natural infection in a longitudinal observational study.](#) *Vaccine.* 2021 Dec 3:S0264-410X(21)01555-3. doi: 10.1016/j.vaccine.2021.11.081. Epub ahead of print. PMID: 34895938.

喫煙者ではワクチン接種後の抗体レベルが非喫煙者の41%にとどまっていた

表3 ワクチン種類・性別・年齢・喫煙有無別新型コロナ抗体レベル線形回帰分析

	Estimate	p-value	95% CI
既感染/ワクチン未接種	3.06	< 0.001	(2.49, 3.63)
ファイザー1回投与	2.67	< 0.001	(1.59, 3.76)
ファイザー2回投与	8.35	< 0.001	(7.87, 8.83)
アストラ1回投与	3.96	< 0.001	(3.44, 4.47)
ワクチン未接種/未感染	0.44	0.13	(-0.13, 1.00)
性 (男性)	-0.27	0.08	(-0.58, 0.03)
年齢 (1才増加毎)	-0.002	0.66	(-0.011, 0.007)
現在喫煙	-0.41	0.006	(-0.70, -0.12)